

2025年度事業報告書

2025年4月1日～2026年3月31日

2025年度は、従来通り業務の効率的な運営と工夫に努めつつ、事業計画に沿って諸事業を進めました。

主な事業として、『人権のつどい2025』は、不登校ジャーナリストの石井しこうさんにお越しいただき、増加を続ける不登校児童生徒の問題について、おとなは何を理解し、どう関わっていくべきかということについて考えました。

『人権フォーラム 2025』は、非核平和都市宣言推進鳥取市実行委員会も共催に加わり開催しました。第五福竜丸展示館学芸員の市田真理さんをお迎えして、ビキニ環礁で被爆した第五福竜丸の来歴、また乗組員と鳥取の人との関係などについてお話していただきました。『人権フォーラム』では、講演とあわせて人権標語・ポスターの表彰式を行いました。

人権とっとり講座は、2025年度も多くの受講者に学びの機会を提供しました。

講演会では、映像プロデューサーの鎮目博道さんに、「メディアは部落差別をどう伝えるか」と題して講演していただきました。報道番組に長く携わりながら遠慮や忖度で部落差別の問題を取り扱うのを避けてきたご自身の経験も交え、現実に行っていることを届けながら、ともに考えていく場をつくり続けなければならないと話されました。

近年問題が顕在化してきている「望まない孤独・孤立」の問題についてあらためて考え、いかに行動していくか考える啓発リーフレット「『つながる』って、ゆたかだ -誰もが安心して暮らせるまち-」を作成しました。

市民団体の活動を支援する人権市民活動支援事業を行い、市民自らが行う活動に対して支援しました。

2025年度は評議員会を1回、理事会を3回開催しました。

公益Ⅰ 人権啓発事業

Ⅰ	事業名	講座・セミナー・育成
概括	ヒューマンライツセミナーは、啓発 DVD 上映会のほか、“依存症”に関する講演、“こどもの人権”をテーマにした映画の上映会を開催しました。 部落問題研究部会では、部落問題にかかわる「私の話」の聞き取りを行いました。 人権教育・保育研究部会では、こども自身の声を聴く取り組みとして、「こどもの権利」についてのワークショップを通して子どもたちと一緒に学びました。 「人権のつどい」、「人権フォーラム」は、市民のみなさんと人権について考える場となり、またセンターを紹介する好機となりました。	
詳細	Ⅰ.研究部会の開催 1) 部落問題部会(第205回/2名参加) Ⅰ.日 時 2月25日(火)13:30~16:00 場 所 美穂地区公民館 内 容 「私と部落問題」聞き取り 2) 人権教育・保育部会(第106回/52名参加) Ⅰ.日 時 4月30日(金)10:00~11:00 場 所 放課後児童クラブ「ひだまり」 内 容 ワークショップで学ぶ子どもの権利 3)ヒューマンライツセミナー(第51回~第53回/ 3回 85名参加) Ⅰ.日 時 5月13日(火)13:30~15:30 場 所 鳥取市民交流センター 内 容 人権啓発 DVD 上映 2.日 時 12月15日(月)14:00~15:30	

	場 所 鳥取市民交流センター 内 容 「やめられないを解き明かす～私たちが依存症になる理由～」 講 師 齊藤章佳さん(西川口榎本クリニック副院長) 3. 日 時 3月10日(火)14:00～16:00 場 所 鳥取市民交流センター 内 容 映画「小学校～それは小さな社会～」上映会
	2.「人権のつどい」の開催 人権のつどい2025 日 時 12月21日(日)14:00～15:30 場 所 とりぎん文化会館第2会議室 演 題 「不登校の人が新しい一歩を踏み出すきっかけ」 講 師 石井しこうさん(不登校ジャーナリスト) 参加者 60 名 人権フォーラム2025 日 時 12月6日(土)9:30～11:30 場 所 とりぎん文化会館小ホール 表彰式 9:30～9:55 人権標語・ポスター表彰式 人権標語 30 点(小中学生の部15点、企業の部15点) 人権ポスター10 点 講演会 10:00～11:30 演 題 「第五福竜丸を知っていますか ～私の“平和語り継ぎ部”宣言～」 講 師 市田真理さん(第五福竜丸展示館学芸員) 参加者 150名

	3.「人権ととり講座」の開催（鳥取市からの受託事業） 期 間 7月1日～9月11日まで（6 講義と1 講演会） 場 所 鳥取市民交流センター等 テーマ 「その問題、誰かのことじゃない」 講義① 子どもの人権 ―ひとりの人として向き合う― 北野真由美さん（NPO 法人えんばわめんと堺代表理事） 講義② マイクロアグレッション ―日常の中にある差別― 丸一俊介さん（在日コリアンカウンセリング＆ コミュニティセンターセンター長） 講義③ 男性学から考えるジェンダー平等 多賀太さん（一般社団法人チェンジングメン共同代表・ 関西大学教授） 講義④ 弱さを愛せる社会へ 野澤和弘さん（毎日新聞客員編集委員・植草学園大学副学長） 講義⑤ 障害者やマイノリティの人たちの災害対策について 八幡隆司さん（認定 NPO 法人ゆめ風基金事務局長） 講義⑥ 見えざる排除 ―部落問題学習の今日的意義― 石川結加さん（大阪芸術大学准教授） 講演会 メディアは部落差別をどう伝えるか 鎮目博道さん（映像プロデューサー・ライター） 参加者 一般公募等市民延べ328名、市職員等延べ161名 講演会 110名
--	--

	4. 人権尊重社会を実現する鳥取市民集会の開催補助 (鳥取市からの受託事業)
	第51回人権尊重社会を実現する鳥取市民集会 と き 8月23日(金)9:30~15:30 ところ とりぎん文化会館梨花ホールほか 参加者 1067名

2	事業名	相談・助言
概括	鳥取市や専門機関と連携して人権相談に対応しました。また、関係機関や団体等が行う教育・啓発事業の支援・相談に応じるほか、講師、助言者として職員の派遣を行いました。	
詳細	1. 人権相談への対応と鳥取市等との連携 4件	
	2. 教育・啓発に関する相談への対応 19件	
	3. 研修講師・助言者の派遣 57件	
	4. 視察受け入れ、人権総合学習への対応等 14件	

3	事業名	助成(応募型)
概括	市民が自ら学び実践する活動を支援するため、市内において活動する市民団体やNPO等が、自主的に企画して実施する人権教育・啓発事業や人権のまちづくり活動の経費の一部を助成し、市民の方一人ひとりが自ら学び実践する活動につなげました。	
詳細	1. 人権市民活動支援事業	
	助成金利用団体	4団体(4事業)
	助成金総額	200,000円

4	事業名	普及・啓発活動
概括	広く市民に情報を提供することを目的に、広報紙・誌を作成し、配布するとともに、ホームページや FM 鳥取などのマスメディアも活用し活動紹介を行いました。書籍や視聴覚教材の収集や関係各機関からの資料提供など資料の充実に努め、市民のみなさんの学びに還元するほか、人権団体との連携、協働の取り組みも積極的に行い、「人権」について幅広く、普及、啓発を行いました。また、視覚に障害のある方の情報保障、合理的配慮として、鳥取市から依頼を受け、介護保険制度などの点訳、受験案内の拡大文字版の作成等も行い、幅広い情報提供に寄与しました。	
詳細	1. 機関紙「ライツ」の発行 12回 (Vol.311~Vol.322) 2. 機関誌「架橋」の発行 2回 (53号、54号) 53号 特集 マイクロアグレッション ―日常のなかにある差別― 54号 特集 排外主義の時代とデジタル空間の変容 ―人権尊重社会の構築に向けた展望― 3. 「記事リスト」の発行 12回 (Vol.312~Vol.323) 4. ホームページ・FM 鳥取などマスメディアを活用した情報発信 ・ホームページ、Instagramの随時更新 ・FM 鳥取での人権啓発放送 年6回 5. 書籍や視聴覚教材等の収集、閲覧・貸出 収集 86 (うち書籍76冊、視聴覚教材10本) 貸出 523 (うち書籍26冊、視聴覚教材497本) 6. 人権関係の各種資料の収集と記録・保存、ならびに研究会・研修会等への参加 ・各種研修会への参加 ・オンライン研修会への参加 ・全国集会への参加	

	7. 鳥取市をはじめ関係機関・団体等との連携 ①加入団体 4 団体 ・人権資料展示全国ネットワーク ・(公社)鳥取県人権文化センター ・鳥取市人権教育協議会 ・鳥取警察署管内犯罪被害者支援ネットワーク ②検討委員会・実行委員会等への参加 8件 ・とっとり市報「シリーズ@じんけん」編集委員会 ・部落解放同盟鳥取市協議会記念誌編集委員 ・第51回人権尊重社会を実現する鳥取市民集会企画委員会 ・第51回人権尊重社会を実現する鳥取市民集会実行委員会 ・鳥取市人権標語・ポスター審査会 ・第75回全国人権・同和教育研究大会実践報告協力者 ・美穂地区住民意識調査設問委員会 ・朝鮮学校美術展 ③点訳等 4件 ・令和7年度版介護保険制度と保険料 ・介護保険料決定通知 ・鳥取市職員採用試験案内(点訳版と拡大文字版) ・鳥取市会計年度任用職員試験案内(点訳版と拡大文字版) 8. 「人権啓発・学習啓発資料」作成事業（鳥取市からの受託事業） 「孤独・孤立」の問題の社会的な背景について、なにが問題か、解消するにはどうすればいいかなど知り、考えていただく教材を作成
--	--

	9. 世界人権宣言推進事業（鳥取市からの受託事業）
	① 人権標語・ポスター募集 （応募数 標語 児童生徒 408点 企業 324点、ポスター 70点） ② 人権フォーラム2025 標語・ポスター表彰式と市田真理さん講演会 ③ 人権週間懸垂幕設置（12月4日から10日）鳥取市人権交流プラザ ④ 人権標語ポスター表彰作品の展示 イオン鳥取北店 ⑤ 研修会の開催 総会後に「世界人権宣言ができるまで」を上映 ⑥ 機関紙やホームページを活用しての啓発 ライツ8月、10月、11月、12月、1月、2月号
	10. モニタリング業務（鳥取市からの受託事業）
	毎月日時を決めて定点観測を行った。

会議の開催	
評議員会	2025年度第1回評議員会 日 時 6月25日（水）10:00～ 場 所 鳥取市民交流センター多目的室1 議 案 第1号 2024（令和6）年度事業報告ならびに決算、監査報告 第2号 理事及び監事の選任 第3号 評議員の選任 報 告 2025（令和7）年度事業計画ならびに予算
理事会	2025年度第1回理事会 日 時 5月27日（火）14:00～ 場 所 鳥取市民交流センター多目的室 3 議 案 第1号 2024（令和6）年度事業報告ならびに決算、監査報告

	第2号 理事及び監事の候補者 第3号 評議員の推薦 第4号 評議員会の開催 報 告 理事長・常務理事の職務の執行状況 2025年度第2回理事会 日 時 7月10日(月) 書面開催 議案 第1号 代表理事及び常務理事の選任 2025年度第3回理事会 日 時 3月24日(火) 10:00～ 場 所 鳥取市民交流センター多目的室3 議 案 第1号 2026年度事業計画ならびに予算、資金調達及び 設備投資の見込みについて 第2号 公益財団法人鳥取市人権情報センター職員給与規程の 一部改定について 報 告 理事長・常務理事の職務の執行状況
--	--

法人の運営体制の充実を図るための取組
● 外部理事の登用(設立当初から。今後も継続の意向) ● 外部監事の登用(公益移行時から。今後も継続の意向) ● さまざまな団体から評議員を選任(多くの課題をさまざま視点から共有。今後も継続の意向) ● 各事業でのアンケートの実施(主催者の自己満足で終わらない第三者による評価。参加者目線での改善点の洗い出しにも効果)